

☆☆

9月下旬から10月中旬にかけて中学生の保護者様との面談をさせていただきました。お忙しい中お越しくださいました保護者の皆様、本当にありがとうございました。皆様のお子様への思いなどをひしひしを感じることができると同時に、皆様から頂きましたご意見などを真摯に受け止め、お子様の限りない力をもっと引き上げられるように教務力の向上に努めていきたいと思っております。

### 秋だからこそ…

こんにちは。『IDOBATA 会議@koharu』も11月号を迎えることができました。第3号おめでとー！といきたいのですが、まだまだ折り返し地点にもきていません。もう少し頑張りましょう。

秋も深まり、夏とは異なり過ごしやすい季節になってきました。ところが、人間の体はそう簡単に季節の変化に耐えられないようで、体調を崩してしまう人もちらほら見られます。私の勤務している学校の職員室でも、マスクを着用している先生方も見られますし、また小春学院の中でも体調を崩して欠席をされる児童・生徒さんも見られるようになりました。体調の管理には、お互いに、注意していきましょう。

### 1. 好きな季節を表現する

さて、皆さんは春、夏、秋、冬のうちのどの季節が好きですか？四季に恵まれていることは本当に幸せなことで、四季の変化を楽しむことができる温暖湿潤気候に該当する地域は世界の国の中でもかなり限られています。そんな四季の移ろいを楽しむのはもちろんですが、自分の好きな季節を意識して、その季節の良さを言葉に表せるぐらいの感受性と表現力を持つてみると、その季節に対する見方も変わってくるのではないのでしょうか。

### 2. 私の秋の過ごし方

ちなみに、私は秋が好きです。昔からなのですが、秋という季節から「静」という一文字を思い浮かべられます。小春学院ホームページのブログ「こはらの伝言板」(<http://koharu-teachers.sblo.jp/>)の10月14日の記事にも書きましたが、春夏秋冬それぞれに人間活動の法則らしきものがあるように思います。秋の静けさを活用して、読書をしたり、勉強をしたり、芸術鑑賞や音楽鑑賞をしたり、あるいは行楽地で秋の自然に触れたりするのはどうでしょうか。秋の夜長は静けさを楽しむのに絶好なものです。音量高いテレビにかじりついているだけでは本当にもったいないです。そういうところで蓄えておいたエネルギーを新しいことをはじめる春で出してみるのはどうでしょうか。そんなことを考えてみて、最近私は私もいろいろ勉強をしています。新しくはじめたこともあります。(何かは秘密です。もちろん仕事が前提のものであります。)毎年、春はなんやかんやと忙しいので自分を磨くということが難しいのですが、仕事が落ち着いてきた秋こそは自分を磨くために時間を使って生きたいと思っております。皆さんの秋の過ごし方はどのようなものなのでしょうか。ぜひ、教えてください。

### 3. 数値に縛られない「自分磨き」

学校に通う子どもたちにとって、自分への評価がわかるものはあらゆる種類の数値です。テストの点数、偏差値、正答数、順位などの数値は子どもたちと切れない関係にあります。もちろん、こ

これらの数値は日本の社会の中で学業を続けていく、夢を達成させる、将来の生計を立てるためには必要なものであることは間違いありません。私も常々子どもたちに数値を意識するように口を酸っぱくするくらいに伝えていきます。しかし、人間として、社会生活を営んでいく上で、数値だけに縛られていいはずはありません。磨けばきらきら輝く一人一人の心にある原石は数値とは無縁のものです。いわゆる「人間の幅」「懐の深さ」「奥ゆかしさ」「素養」「文化に対する興味・関心の深さ」というものが、大人になってからの一人一人の魅力につながっていくように思います。そういうものを磨いていくことも子どもたちが「一つ上をいく」大人になるためには大切なことではないでしょうか。大人になってからも仕事上では数値で評価されますが、人間関係の上では数値ではなく人としての内面性になります。表現しにくいのですが、内から湧き出る光を磨くことも大切なことです。秋だからこそできる、そんな自分磨きの機会を小春学院でもアレンジしてみたいと思います。

文責：めがね先生

## ★★11月の予定★★

### ①「こはる Autumn Theater」開催

秋は芸術の秋。映画を見て一息つきませんか？今回は『シャーロック・ホームズ』（2010年日本公開版）と一緒にみたいと思います。ホームズの謎解きストーリーを楽しむのはもちろん、イギリスの情緒あふれる風景も堪能できればいいと思います。映画を通して、世界の様々な美しい景色を見るのもいいものです。開催日は11月6日（日）です。別紙のご案内をご参照の上、奮ってご参加ください。

### ②中学3年生北辰テスト・中学2年生北辰テスト

11月6日（日）は中学3年生の北辰テスト[第6回]の実施日です。十分に勉強してテストに臨みましょう。北辰テスト[第7回]は12月4日（日）です。受付は11月3日（木）～14日（月）です。また、中学2年生の北辰テスト[第2回]も同日に行われます。ぜひテストを活用して、勉強の指針にしていきましょう。

### ③中学生学力テスト

今月の学力テスト受験最終日は11月26日（土）です。11月の学習内容の復習、事前課題プリントの確認をしっかりと行ってテストに挑戦しましょう。

### ④11月3日（木・祝）・23日（水・祝）の授業について

小春学院カレンダー通り、両日ともに授業日となります。振替授業も行いますので、調整をご希望の場合には担当までご連絡ください。

## ★★今月の「この一問！」★★

今月は社会の問題です。チャレンジしてみてください。答えは教室で！

- |    |   |
|----|---|
| 問1 | 今年、小笠原諸島と平泉が世界遺産としたあらたに登録されました。では、ア～エの世界の名所のうち、世界遺産に登録されていないものを記号で答えなさい。<br>ア 自由の女神    イ サイパン島    ウ エッフェル塔    エ アクロポリス                          |
| 問2 | 私たちが生活をする埼玉県は数多くの著名人を輩出しています。次の中から埼玉県出身者としてあてはまらない人物を記号で答えなさい。<br>ア 壺川幸雄（演出家）    イ 塙保己一（国学者）    ウ 源義仲（平安末期の武将）<br>エ 岡田啓介（元首相）    オ 渋沢栄一（官僚・実業家） |
| 問3 | 埼玉県内で出荷額が一番高い工業製品をア～エから選び記号で答えなさい。<br>ア 看板    イ 印刷物    ウ 普通自動車    エ 医薬品製剤（医薬部外品を除く）   |

**舛田光洋「3日で運がよくなる「そうじ力」(三笠書房の王様文庫)**

最近の小春学院の様子を知っていると、「なんだ、この本の影響か」なんて言われそうですが、それは事実に戻ります。そうじをすることを習慣化していることを同僚の先生に話したら、「じゃあ、この本を」と頂いたのが本書です。まあ、頂いた本をこの企画の第1号にするのもいかなものかと思われそうですが…。

この本を読んで感じたことは「そうじには理がある」ということです。タイトルの「運」という言葉は「理」とは真逆なイメージがありますが、そもそも人間の行動の結果が現象であれば、現象としての「運」も人間の行動によってもたらされた結果となります。そうじに秘められた意味を感じ取るのにはいいきっかけになる本です。

「断・捨・離」「整理術」「片付けの魔法」と身を整えることをテーマとした書籍や風潮が広まる昨今、いきなり長い文章を読むことに抵抗があるようでしたら、この手の簡単な文庫から入るのも面白いかもしれません。もちろん、子ども部屋のそうじについての段落もございますので、お子様と一緒に読んで、行動として変化を与えてみるのはいかがでしょうか。

---

【編集後記】

新企画もはじまりました。今月から両面印刷。そんなに勢いをつけて大丈夫なのかと不安になりますが、最近いろいろ伝えたいことがたくさんありまして…。そうそう、当学院のホームページもぜひご覧ください。ブログもあります。ツイッターなんていうものもやったりしています。最近発信ばかり。受信の方が…。皆様からの「これだけは言いたい」「みんなに伝えたいことがある」を募集しております。宜しく願いいたします。

ペンネーム